

超高齢化社会の始まりです。一人で家から目的地まで移動できること・地域生活サポートの仕組みをつくりましょう。



高齢化問題は女性問題といわれています。65 才以上の一人暮らしの73%が女性です。平均寿命は男性 79 才、女性 86 才です。高齢男性は家族と一緒に生活する方も多いのですが、一人暮らしの高齢女性は所得が少なく、生活が苦しい方が多いのです。

2013年 11月 1日人口

75才以上	男・844人	女・1277人
65～74才	男・1428人	女・1448人
0～64才	男・6877人	女・6492人

嵐山町は南北に細長く、丘陵地で坂が多いので、外出は自動車が必要です。

嵐山町は 75 才以上の免許を持たない人へタクシーの初乗り料金 710 円年間 36 枚のタクシー券を 23 年度よりはじめ、25 年度は 628 万円を予算化しました。利用される皆さん、ありがたいといわれます。が、年間 36 枚、加算料金 310m/90 円は、自己負担です。

24 年度は登録者数 411 人で、そのうち利用された方は 355 人、443 万円の経費でした。

鳩山町は、デマンド交通を運行し、登録している人は予約して、家から町内目的地まで 100 円 埼玉医大まで 500 円で、他の予約した人と乗り合うデマンドタクシーを運行しています。

鳩山町は、H24 年度は運賃収入 400 万円弱を含めて、2240 万円の経費でした。寄居町も、H25 年度、利用料金 1 回 300 円の愛のりタクシーを 2116 万円予算化しました。

嵐山町が鳩山町や寄居町のようにデマンド交通を運行し、登録した人が 1 回 100 円、300 円 500 円で一人で病院に出かけることができる時、家族は仕事を休まないで仕事に従事できます。

高齢の方が、買い物、おしゃべり、趣味の場に一人で出かけることができる時、負担をかけている心苦しさがなくなります。そのうえ、認知症と運動機能の介護予防ができるので、医療費や介護費が少なくなります。



デマンド交通 (タクシー券より高額経費ですが) 医療・介護への投資効果は大い。

町民の方からの寄付で、地域福祉人材育成基金 2000 万円が設置されました。

嵐山町の 65 才以上人口は、4997 人 (H25 年 11 月 1 日)、高齢化率は 27% を越えました。

介護保険サービスと地域福祉が課題です。ニーズにあったサービスをする福祉の担い手育成が必要です。

右のグラフのように昨年度、65 才以上人口は 5 年前より 800 人増え、H24 年決算では保険料は 2 億 2000 万円、5 年間で 2200 万円増です。

介護保険の要支援・要介護の方は 5 年間で 170 人増え保険給付費は 2 億円増えました。65 才以上の 15% 弱の方が要支援・要介護に該当です。

国の 2015 年の介護保険改正は、「施設から在宅へ」「医療から介護へ」の第一歩とされています。

2015 年の改正では、自立度の高い要支援の人を介護保険の対象から外し市町村独自事業とするといわれています。

町民の方からの寄付金で、地域福祉人材育成基金 2000 万円を設置しました。

介護や福祉のための学習をした方が、嵐山町や近辺の福祉施設で仕事に就かれたとき、資格習得に必要なだった経費を給付します。4 月から始まります。

寄付を人材育成に役立てる将来を見すえた賢い活用です。

高齢で一人暮らしの女性は、生活が苦しくなります。

厚生年金額の男性の平均は 10 万 778 円

女性の平均は 5 万 446 円

年収 130 万円以下の方は男性 17.4%・女性 23.8%

女性が、主に家事をして収入を得てこなかったこと。女性は、夫の扶養の範囲内でパート労働が多いこと女性の賃金単価が男性よりも低いことにあります。

♥元気な高齢女性が働ける環境をつくること有償ボランティアの担い手になることで、嵐山町全体の総所得を増やすことができます。

提案

65 才以上の介護保険被保険者が一定のボランティア活動をしたら、ポイント加算しお金に換えることができる制度を提案します。

超高齢でも、一人暮らしでも手助けがあって、地域・家で過ごせるためのひとつの仕掛けです。

稲城市、千代田区、倉敷市など全国 87 の自治体で行われている介護支援ボランティア制度です。

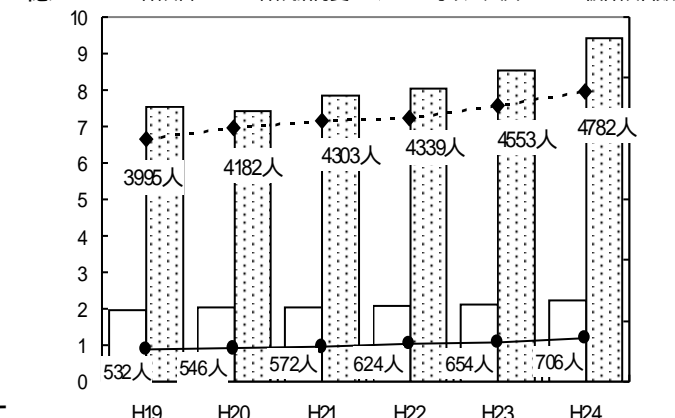
地域の支えあいをボランティアの項目が定めてあって、介護保険税を納付する 65 才以上の方が、ボランティアを登録して、定まったボランティア活動をすると、ポイントになります。

ボランティア活動でたまったポイントは年度末に 5,000 円まで、お金に換算できます。

嵐山町の地域お助け券に加え、元気な地域の支えあいの担い手を生みだし、社会参加をしていただき、ポイントをためれば、収入になる仕組みです。

町も 65 才以上の方もプラスになり、一石二丁です。

嵐山町介護保険の利用状況



真夏の学校の暑さ対策としてエアコン設計が予算化されました。

小学校 3校 270万円

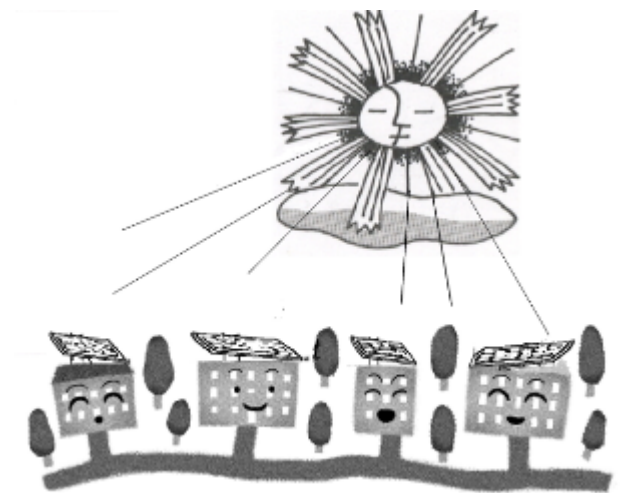
中学校 2校 160万円

幼稚園 30万円

真夏の猛暑での授業は、健康にはよくないし、授業に集中できません。

2014年度、太陽光発電によるエアコンが設置されるといいですね！

環境計画兼ストップ地球温暖化計画案では、小中学校や公共施設での太陽光発電設置で、嵐山町のCO2量の削減を目指しています。公共施設の屋根を貸して、太陽光発電設置や、遊休地を利用して太陽光発電を設置する計画です。



嵐山町の太陽光発電所をつくりましょう！！

▶嵐山町太陽光発電所で、夏場は、電力を小中学校・幼稚園のエアコンに使い、余ったら電力を売電することができます。

▶東京電力などの独占型電力会社による電気の購入でなく、嵐山町で作る電力を嵐山町で使う地域分散型のエネルギー活用をはじめましょう！！

小川町に小川町市民発電所施設第1号太陽光発電所が小川町大塚蟹澤(出力17.5KW)に作られます。電気は再生可能エネルギー100%の新電力に売電です。

日本は、ウラン・石油・石炭・天然ガスを輸入してエネルギー供給します。福島原発事故は、放射能を出し続け、大気・土壌・海を汚染。石油・石炭・天然ガスは世界情勢・投資家によって価格が急高騰し、不安定です。

嵐山町は、地域の自然エネルギーを活用して、地球温暖化を抑え、気候変動による世界中の被害を少なくし、子ども達の健康を守りましょう。